

## Voice



## 日々成長を 感じられる職場です

国際協力に関心を持ったのは、高校2年の時に研修でインドを訪れたことがきっかけです。カトリックのシスターたちがスラム街で活動するのを見て、途上国における貧富の格差に衝撃を受け、将来はこの分野で力になりたいと思いました。

人づくりに関心があり、大学院ではカンボジアの教育行政について研究しました。卒業後、就職した人材派遣会社では、登録した方に仕事を通して活躍する場を提供するお手伝いをしていましたが、外国の人たちの活躍の場にも携わりたいと思い、JICEに転職しました。自分の学んできたことがすべて発揮できる場がここだと思いました。

JICEは国際協力という同じ志を持った人たちと、共に成長する働き方が可能な職場です。語学については、仕事を通じて努力すれば大丈夫。必要に迫られて覚えていくのが近道かなと思います。

小林 ひかりさん

JICE 中部支所支所長  
(2020年9月現在)

産休・育休を経て  
中部支所支所長

九州支所支所長

留学生事業部で中国や  
アジア各国の  
若手行政官の留学  
受入支援事業に従事

研修事業部で国内省庁  
や外国政府委託事業を  
担当

JICEに入職  
国際研修部(東京)で国際  
協力機構(JICA)  
研修員受入事業を担当

人材派遣会社勤務

名古屋大学大学院  
国際開発研究科 修了

南山大学外国語学部  
英米学科 卒業

## オンライン研修 始めます

私が現在所属している中部支所所管地域では、JICEの事業のなかでは多文化共生分野のニーズが高いです。愛知県には定住外国人が多く、文化や価値観の違いから、なかなか職場に定着できない方もいます。そういった方々を対象に、日本で働く上でのルールやマナー、日本語の学習支援をしています。企業側の受け入れ態勢の整え方を知りたいというニーズにも応えています。受け入れ側の企業と外国人社員が相互理解を深めるためのヒントやコツを伝えることで、うまくコミュニケーションが取れるように支援します。こうした仕事は人材派遣会社時代に行っていた、派遣社員と派遣先企業担当者との間のコーディネーション業務に近いと感じます。

地域のニーズに応え、かつ中部支所にサポーターとして登録されている外国人スタッフの方々に活躍していただくため、オンラインや三密を回避した支所独自の日本語研修を始めようとして準備を進めているところです。



「外国人早期適応研修カリキュラム・教材等説明会(愛知県主催)」にて説明する様子

## Work

# 一般財団法人 日本国際協力センター (JICE)

設立：1977年  
基本財産：10億円  
従業員：278人(2020年4月現在)  
本部：東京都新宿区  
支所：北海道、東北、中部、関西、九州  
海外：アラブ首長国連邦、ウズベキスタン、カンボジア、キルギス、スリランカ、タジキスタン、中国、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ベトナム、ミャンマー、モンゴル、ラオス  
事業分野：留学生受入支援、国際研修、国際交流、多文化共生、日本語教育、プロジェクト支援、通訳派遣  
募集職種：総合職  
募集人数：若干名  
住所：〒163-0716 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル16F  
TEL：03-6838-2700  
MAIL：saiyo@jice.org  
HP：https://www.jice.org



留学生たちへの日本語の授業風景

40年以上にわたり  
人材育成に取り組み

日本国際協力センター(JICE・ジャイス)の使命は「わが国と諸外国との互恵関係の強化に資する事業を通じて、国際社会の発展に寄与すること」。

開設当初は開発途上国の人材育成支援を主な業務としていたが、現在の事業対象地域は先進国を含めた国際社会全体に拡大している。

日本の大学院などで学ぶ留学生の受入支援事業や、海外の行政官などを招いて行う国際研修事業、学生や若手社会人を対象とした国際交流事業、在日外国人を対象とした多文化共生事業や日本語教育事業をはじめ、人材育成分野の事業を中心に手掛け、持続可能な開発目標(SDGs)達成を目指している。

調査から企画、コンサルティング、運営、評価までの一連管理により、人々の学びをサポートしている。

多文化共生社会を目指して  
外国人を支援

2018年末にいわゆる入管難民法が改正され、外国人労働者の増加が見込まれる今、JICEには多文化共生社会づくりへの期待が寄せられている。

厚生労働省からの受託事業「外国人就労・定着支援研修」では、2019年度は19都府県で計約5200名の定住外国人を対象に日本語やビジネスマナーの研修を実施した他、外国人留学生や新社会人(元留学生)を対象とした研修も新たに実施した。また、長年にわたる日本語教育事業の経験を集約し、日本語教材「はたらくための日本語」を開発・発刊した。

JICEが求める人材はコミュニケーション能力の高い人。職員以外に、期限付職員、コーディネーター(通訳兼研修ファシリテーター、登録制)、日本語講師(登録制)も求人がある都度、募集している。